

第36期事業計画

2020年4月1日から2021年3月31日まで

基本方針

1. 徳島の抱える構造的課題、今後の成長期待分野に関する調査・研究活動の推進

観光振興およびIoTの導入や活用の取組みについて、関係者と協働しながら具体的な成果を上げていく。

観光分野においては、国の観光関連予算の活用も展望しつつ、観光・交通・行政関係者と連携しながら、外国人観光客の誘客や交流人口増加に向けた活動に取り組むとともに、県内宿泊施設の実情や今後の展望について調査する。IT・IoTについては、国（四国経済産業局）・大学・母体行とも連携しながら、IT・IoTを活用した県内企業の経営革新を支援する。さらに、昨年度四国の地銀4行の包括提携「四国アライアンス」の枠組みで実施した、デジタル技術の社会実装調査の結果等を踏まえた県内の実情を取りまとめる。

また、人材の確保が企業にとって重要な課題となっていることから、働き方改革や事業承継についての課題等を調査するほか、県外資本の進出や非対面販売が拡大するなか徳島そごうの8月閉店が予定されていることもあり、小売業の構造変化と消費行動への影響を調査する。さらに、最近徳島でも注目されつつあるeスポーツについて、地域の活性化に結びつける可能性を調査するほか、高齢化の進展に伴い重要性を増している交通手段の確保に関連し、MaaSについても調査する。

以上に加えて、「四国アライアンス」で共同調査活動に取り組むとともに、県内景気動向等については、一層適切な状況把握と分析を行う。また、2016年に発行した経済読本「徳島が好きになる本」を改訂し、県内中学校・高等学校等に配布する。

2. 調査・研究成果の積極的な提供

調査・研究した成果については、刊行物や講演会活動、マスメディアの活用、関係先への説明会開催等を通じて提供するとともに、各種審議会、委員会等の場で積極的に発信することによって、行政や民間の幅広い分野で有効活用されるよう努める。

3. 母体行、行政、大学、経済団体との連携

阿波銀行をはじめ経済界、行政、大学などの関係諸機関との連携を密にし、観光ビ

ビジネス活性化や企業のIT・IoT導入・活用の推進を図るとともに、地域や企業が抱える課題の解決に取り組む。その他、徳島が抱える様々な課題に対し、従来と同様、それぞれ各方面と連携して取り組む。

4. 人材の活用

外部機関主催の各種講演会・研究会等の機会を積極的に活用し、研究員の知識や能力の向上を図るとともに、調査対象の分野に詳しい外部の人材を活用することによって、調査・研究内容のレベルアップを目指す。

5. その他

グループウェアの活用などにより、情報共有を推進する。

実施計画

1. 調査・研究事業

(1) 調査・研究テーマ

- ① 徳島を四国観光の玄関口にする(IV)
～交流人口増加に向けた新たな取組みの考察～
- ② 県内宿泊施設の実情と今後の展望
- ③ 徳島IoT活用研究会における活動報告
- ④ AI-IoTの新たな活用の状況
- ⑤ 県内企業によるデジタル社会実装の取組み
- ⑥ 中小企業における働き方改革への取組みの現状と課題
- ⑦ 事業承継の現状と課題
- ⑧ 徳島県内の小売業の構造変化と消費行動への影響
- ⑨ eスポーツを活用した地域活性化の可能性
- ⑩ 地方交通体系の維持～MaaSへの取組み～

(2) 四国アライアンス地域経済研究会（四国地銀4行の経済研究機関の共同調査）

(3) 定例（継続）調査活動

- | | |
|---------------|--------------|
| ① 県内景況調査 | （毎月ヒアリング等） |
| ② 企業経営動向調査 | （四半期アンケート） |
| ③ ボーナス支給動向調査 | （夏季・冬季アンケート） |
| ④ 賃上げ・初任給動向調査 | （年1回アンケート） |

⑤ 新卒・中途採用計画調査 (年1回アンケート)

(4) 情報提供事業

- ① 行政等外部機関からの依頼による各種委員会等への委員派遣
- ② マスメディアを通じての情報提供
- ③ ホームページを通じた情報提供の一層の充実

(5) 徳島経済調査協議会の開催

当協議会は1992(平成4)年7月設立。毎年2回開催(既往実績68回)。

構成メンバーは、徳島県内における官民の主要18機関。

県内経済動向を幅広い角度から分析するとともに、地域の課題や活性化に関する意見交換を行い、各機関における事業や施策展開面での貢献を目指している。

(6) 徳島観光ビジネス推進研究会、観光ビジネスセミナーの開催

観光・交通・行政・阿波銀行などの関係諸機関と連携し、研究会やセミナーを開催しながら観光ビジネス推進に向けた取組みを行う。今年度は、国の観光関連予算の活用も視野に入れて、鳴門地区等へのインバウンド客誘致に向け、観光ビジネス推進研究会に設けたワーキンググループ(観光・交通・行政関係者などで構成)メンバー等と連携し、具体的なコンテンツ開発に取り組む。

(7) 徳島IoT活用研究会の活動

これまで、研究会メンバーの実際の業務上の課題をIoT化によって解決する実践的なワークショップやセミナーを開催し、県内中小企業のIoT等の導入や活用推進を図ってきた。今年度はこれまでの取組みを総括するとともに、国(四国経済産業局)・徳島大学・阿波銀行などとも連携しながら、IT・IoTの導入や活用の高度化を促し、県内企業の経営革新を支援する。

(8) とくしまマルシェ実行支援委員会

とくしまマルシェの継続発展に資するため、とくしまマルシェ実行支援委員会事務局として企画や情報発信等において運営事務局を支援する。

2. 研修事業

- (1) 外部主催の講演会・研修会、大学等への講師派遣
- (2) インターンシップの受け入れ

3. 出版事業

- (1) 「徳島経済」 (年2回)
- (2) 「徳島経済レポート」 (毎月)

- (3) 「企業経営動向調査」 (毎四半期)
- (4) 「経済トピックス」 (随時)
- (5) 「徳島県の経済と産業」 (毎年改訂)
- (6) 経済読本「徳島が好きになる本」(2016年発行版の改訂)
- (7) その他(個別ニーズへの対応) (随時)

以 上